

有用広葉樹等の保残による植栽面積(本数)の削減

1. ねらい

多様で健全な森林へ誘導するため、皆伐予定地に生育する有用広葉樹を積極的に保残するとともに、保残木の占有面積を植栽面積から除外して植栽本数を削減します。

2. 概要

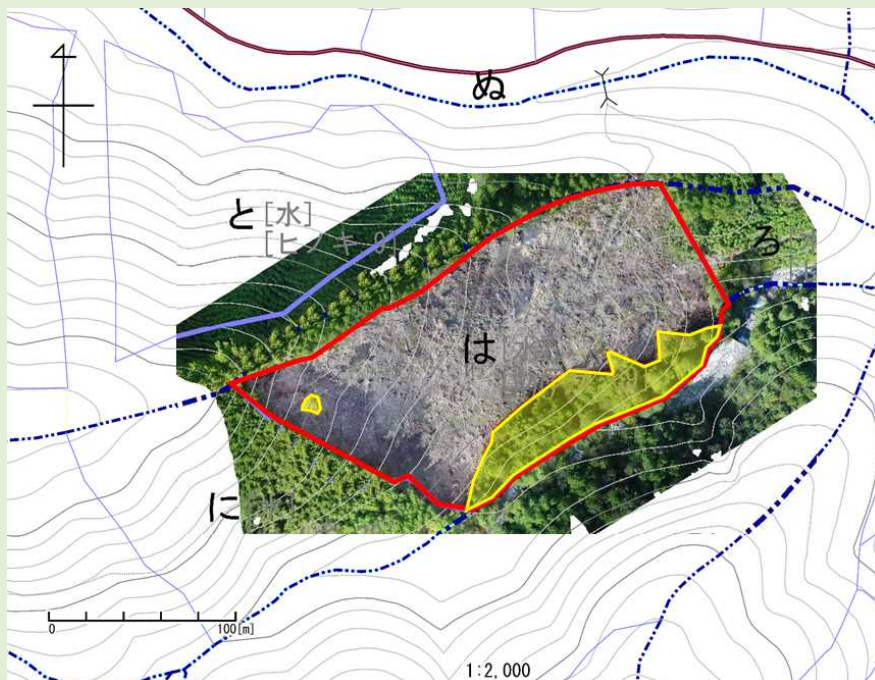
保残する有用広葉樹の占有面積は、ドローンの自動飛行により写真撮影を行い、その空中写真をオルソ画像化することにより確定します。

3. 成果

～モデル事業地での効果の試算～

皆伐面積2.42haから保残木占有面積0.38haを除くことによりヒノキ植栽本数840本を削減することが可能です。

これにより、植付等経費約77万円(植付34万円、地拵17万円、下刈(5回)26万円)を削減することが可能です。



有用広葉樹の保残状況

凡 例	
	保育・更新施業 対象区域
	更新面積からの 控除区域

4. 問い合わせ先

森林整備課 電話 026-236-2566